

熊本大学学術リポジトリ

Kumamoto University Repository System

Title	ひとゝき : 詩・歌・句
Author(s)	松井, 丈夫
Citation	龍南, 241: 36-37
Issue date	1938-06-15
Type	Departmental Bulletin Paper
URL	http://hdl.handle.net/2298/7487
Right	

ひ
ご
ゝ
き

松
井
丈
夫

温たかき忘却の潮の中に

蛹の様な体を横たへやう

憂愁の帳トナリを深く下して

想念の鏡を研ぎ澄まさう

果敢なき現存の網膜から

離脱した虚無の白々しさ

時は泡沫を浮べた河の流れではなく

宿命の暗い影をうつす

澱んだ湖の様に思はれた

鉛色の空間を彷徨する感情の休止符

私は追憶の乳房を舌の先にまさぐる

又しても銘碑を刻む自我の工匠たち

永劫のオルゴールは

物憂く挽歌を奏でた。